

やまなし 市議会だより

平成26年 5月23日

第37号



園庭で元気に遊ぶ園児たち（山梨市立山梨保育園）

新市長就任後、初の定例会が開催されました

除雪経費の追加や、農業者への被害に対する支援など、 大雪による雪害対策に関わる補正予算案が可決される

平成26年3月定例会は、3月3日に招集され、27日までの25日間の会期で開催されました。この定例会では議員提出議案1件と、平成26年度の予算をはじめ、補正予算や条例改正など市長提出議案42件を審議し、すべての議案を原案のとおり可決または同意しました。

おもな内容

議案等審議結果	2～3	常任委員会の審査	8～9
市政一般質問・緊急質問	4～8	議会活動日誌・編集後記	10

[発行] 山梨市議会 〒405-8501
[発行者] 山梨市議会議長

山梨県山梨市小原西843番地 TEL0553-22-1111(代)
[編集] やまなし市議会だより編集委員会

3月定例会議案等 審議結果

本年2月は、山梨県内において平年を超える降雪が続き、特に2月14日から翌日にかけては記録的な大雪となり、これまでの観測記録の2倍を超える観測史上最大積雪を記録しました。この大雪により、国道や県道をはじめとする道路の通行不能や鉄道の運転中止で交通機能が途絶し、各所で孤立世帯や車の立ち往生による孤立者が発生しました。また、食料品や日用品、燃料などの不足や品切れが起こるとともに、建物の損壊、農薬用ビニールハウス及びぶどう棚の倒壊や、これに伴う果樹の枝折れ等の農業被害など、市民生活はもとより本市の基幹産業である果樹農業をはじめとする地域経済に甚大な影響が発生しました。これらに対処するため、市では災害対策本部を設置し対応に当たっていますが、その対策には多額の費用を要しており、今後莫大な費用負担が見込まれるところであります。また、建物被害や農業被害等は融雪後に判明する事案も多いことから、今後もさらに深刻化する恐れがあり、壊滅的被害を受けた基幹産業である果樹農業への影響は数年間に及ぶことが予想されます。

議員提出議案の、山議案第一号平成26年2月の大雪災害に関する意見書の提出については、国及び県において、こうした深刻な状況を理解いただき、『安全かつ円滑な道路や県道の降雪対策を進めるとともに、降雪時には迅速な措置を講じること』、『農業従事者の高齢化が進行している状況も勘案し、今後においても意欲を持って農業を続けられるための支援策を講じること』、『市道や農道の除雪経費、除雪用機材や融雪剤等の購入経費、高齢者世帯や孤立世帯等の除雪経費に対する財政措置を行うこと』について、特段の配慮を強く要望するものとなり、全会一致により原案可決となりました。

市長提出議案の、議案第三十四号平成25年度山梨市一般会計補正予算(第6号)は、倒壊したビニールハウスの撤去・再建費用、除雪にかかった重機などの借り上げ料、被害を受けた学校施設及び体育施設などの修繕費、その他雪害対策として、歳入歳出予算にそれぞれ2億8千833万4千円を追

加するもので、全会一致により原案可決となりました。

12月定例会提出議案等

【議員提出議案】

○山議案第一号
平成26年2月の大雪災害に関する意見書の提出について
(原案可決)

【市長提出議案】

○議案第一号
山梨市商工振興資金貸付条例について
(原案可決)

○議案第二号
山梨市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第三号
山梨市使用料徴収条例等の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第四号
山梨市立図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第五号
山梨市屋内温水プール設置及び管理条例等の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第六号
(原案可決)

山梨市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第七号
山梨市個人情報保護条例の一部を改正する条例について
(原案可決)

○議案第八号
山梨市牧丘町乙女高原グリーンロッジ設置及び管理条例を廃止する条例について
(原案可決)

○議案第九号
山梨市西沢山荘設置及び管理条例を廃止する条例について
(原案可決)

○議案第十号
平成25年度山梨市一般会計補正予算(第5号)
(原案可決)

○議案第十一号
平成25年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)
(原案可決)

○議案第十二号
平成25年度山梨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)
(原案可決)

○議案第十三号
平成25年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第三号)
(原案可決)

○議案第十四号
平成25年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第三号)
(原案可決)

○議案第十五号
(原案可決)

平成25年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第三号)
(原案可決)

○議案第十六号
平成25年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第三号)
(原案可決)

○議案第十七号
平成25年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第二号)
(原案可決)

○議案第十八号
平成25年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第三号)
(原案可決)

○議案第十九号
平成25年度山梨市水道事業会計補正予算(第三号)
(原案可決)

○議案第二十号
平成26年度山梨市一般会計予算
(原案可決)

○議案第二十一号
平成26年度山梨市国民健康保険特別会計予算
(原案可決)

○議案第二十二号
平成26年度山梨市後期高齢者医療特別会計予算
(原案可決)

○議案第二十三号
平成26年度山梨市交通・火災災害共済事業特別会計予算
(原案可決)

○議案第二十四号
平成26年度山梨市下水道事業特別会計予算
(原案可決)

○議案第二十五号
(原案可決)

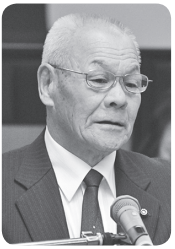
市政一般質問 (代表・一般) 及び 緊急質問

平成26年3月定例会の市政一般質問が3月18日・19日に行われ、代表質問を3人の議員が、一般質問を9人の議員が行い、市政全般について市の考えをたしました。また19日の本会議において緊急質問が行われました。質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

詳しい内容を知りたい方は、会議録を市立備立図書館・公民館・情報公開コーナーなどに備えまますのでご覧ください。また、会議録はホームページにおいても公開しています。

代表質問

山友会
大村 政啓 議員



〈主な質問と答弁〉

問 雪害による被害農家等への救済対策について

大雪で被害額が大きく、その救済対策に国、県、市も懸命

である。次のことについて伺いたい。

問①本市の雪害被害の概要は推定でどの位か。

答①市長 望月清賢 2月25日現在でハウス施設全壊2千221アール、半壊349アール等。暫定被害額は2月18日現在の県、市、JA等のまとめで18億3千万円余である。

問②被害農家への手厚い支援のため、財政調整基金を活用する考えは。

答②(市長) 雪害対策資金に不足が生じる時は、基金を取り崩し活用したい。

問③今後の大雪に備えて除雪費の増額が必要ではないか。

答③(市長) 除雪費は当初予算に計上している。建設協力量と協議し、予備費や補正予算で対応していく。

問 教育行政の諸問題について

問①山梨市小規模教育環境検討委員会のこれまでの取組と進捗状況を伺いたい。

答①(教育長 丸山森人) 平成21年に設置し、小中学校の適正規模につき研究してきた。学校規模で小学校ではクラス替え可能な12学級以上、中学校では6学級以上の規模、学級規模で20人程度が望ましく、不可能であれば複式学級を解消できる規模が望ましいとの結論を得ている。

問②少子化による現状と、統廃合を視野に入れた学校運営の考えは。

答②(教育長 児童・生徒数は確実に減少する。小規模校では集団生活での様々な人間関係の体験や、多様な意見を出し合う学び等が困難であり、環境改善のため、統合を含め検討している。

問③笛川中のスクールバスは耐用年数が相当過ぎている。生徒送迎の安全面から問題がないか。

答③(教育長 今現在の3台の内、今年度1台を新車両に入れ替え、残り2台についても年次計画で新車両に入れ替える。

問④全国的に児童・生徒の学力が低下傾向にあるが、改善策として週6日制導入の考えは。

答④(教育長 平成25年11月から教育委員会の判断で土曜日授業が可能となった。教育現場の意見を聴き、望ましい在り方を検討していきたい。

問 機構改革への取組と考える

合併時23課に、平成22年度21課に編成された。行財政諮問会議の意見書の中で、健全な財政運営及び簡素で効率的な行政システムの構築を目標に掲げている。類似業務の統合を含め、平成26年度中に取り組むことを望むが考えを伺いたい。

答 市長 望月清賢 機構改革後3年が経過した今年度、全課において現状の組織や事務分掌等を検証し、課題や改善案を集約したところである。明年度、庁内で検討を重ね、機構改革に取り組んでいく。

問 市制式典について

合併日は平成17年3月22日であり、その日に式典を行うべきである。また住民の一体感を醸成する観点から、花かげホールでの実施を望むがいかがか。

答 政策秘書課長 小林勝正 今後の開催については再度検討する機会を持ち、関係者の意見を伺いたい。

問 土地開発公社解散に伴う土地利用について

●小原スポーツ広場整備完成後の運営について

新翔会

乙 黒 泰 樹 議員

山梨市の雪害対応について

先般の大雪により、山梨市では多くの果樹農家のビニールハウスに甚大な被害があった。国や県の補償が固ま

り山梨市が果樹大国を維持するために、多くの農業従事者が希望を持てるような補償が必要である。山梨市の雪害対応について示されたい。

答 市長 望月清賢 山梨市の農業関係被害は、県・市・JAフルーツ山梨が取りまとめた2月18日現在暫定で18億3千万円余である。県議会での総額66億2千万円余の追加補正に伴い、山梨市でも2億800万円余を追加補正予算に計上した。今後被害調査及び撤去・再建が進む中で、追加予算を上回る場合には6月議会に対応する。

問 災害時の危機管理体制について

2月14日の大雪により山梨市内の交通網は完全に遮断され全ての機能がマヒした。山梨市では望月市長を中心に復旧作業に取り組み、地元建設業者による除雪作業や地域住民との協力体制は大きな力となったが、想定外の災害への対応には課題が残った。現行の防災計画は豪雪に対する対応が十分ではないが、今後の修正点を示されたい。また障害者や高齢者に対する対応と、様々な災害に対応し地域の実情に合ったマニュアル作成への見解を示されたい。

答 市長 望月清賢 現在の山梨市地域防災

現在、山梨市は果樹農家の被害が深刻化している。雪害による被害額は大きく、その救済対策に国、県、市も懸命である。大雪で被害額が大きく、その救済対策に国、県、市も懸命

大雪で被害額が大きく、その救済対策に国、県、市も懸命

大雪で被害額が大きく、その救済対策に国、県、市も懸命

計画では雪害対策が示されているが、今回の様な異常降雪は想定されていない。今後はこの様な大雪において情報発信や孤立集落への対応等、課題を検証し見直しを行う。障害者や高齢者への対応は区長や民生委員に協力頂いているが、今後も災害時要援護者台帳を活用し、地域で支え合える仕組みを検討する。災害の種類や規模、地域に即した基本マニュアル作成も検討する。

問 新図書館建設について

前市長の下で進んでいた新図書館建設は山梨市の財政規模に合った形での見直しが報告された。新たな図書館を検討する有識者会議の委員構成と立ち上げ時期を示せ。図書館の規模、建設に係る費用や日程、どのような蔵書を購入し利用者に貢献していくのか運営方針等を示されたい。

答 市長 望月清賢

有識者会議の委員は、社会教育、学校教育の有識者、市内主要団体の代表者を想定しており、早期設置を検討する。建設の費用はこれまでの計画の三分の一程度を想定しているが、面積や蔵書規模は基本計画の内容を尊重する。購入する蔵書や利用者への運営方針は、子供達の知的好奇心を向上させる絵本、高齢者のための大活字本、障害者の

ための点字本等、誰もが利用しやすい図書館を目指す。

問 中学生の医療費窓口無料化について

市長が言及した中学生の医療費窓口無料化の、実施時期を示されたい。

答 市長 望月清賢

6月議会に条例改正案及び補正予算案を計上し、10月1日から実施する予定である。〈その他の質問〉●山梨市の産科医療について●子育て支援対策について●学童保育の現状について●学校給食施設の在り方について●山梨市の観光・経済発展政策について

雨宮 巧 議員



〈主な質問と答弁〉

問 基本政策「まちづくりの3本柱」について

①定住人口を増やす観点から市街地整備に取り組みたいが、具体的に説明されたい。また西関東連絡道の延伸を図るとしているが、この経済状況で、通行台数も減少する中、岩手以北への延伸が必要か伺いたい。

答 ①(市長 望月清賢) 人口減少期に入り、都市計画道路

の必要性も変化していることから明年度より計画の見直しを進める。駅南地域の開発は、着実に進めると同時に、中央道一宮御坂ICに重要な接続道路となる為、県に働きかけ早期実現を目指す。この道路と駅は山梨市への玄関口となり、アクセスが容易になることで定住に繋がると考える。

次に西関東連絡道の岩手以北延伸であるが、今後埼玉県側の道路状況の変化によって観光ルートとして交通量の増加や災害に強い安全安心な道路のネットワーク構築を図る為にも埼玉県側の整備促進と延伸を検討していく。

問 ②「地域の8割を占める森林と上質な水資源の活用策を県と共に調査研究をしていく」とのことであるが、上質な水資源の源となるべき森林が被害により荒れ果てているのが現実である。利活用の前に森林再生に向け県、国に働きかけるべきと考えるがいかがか。

答 ②(市長) 森林は、洪水や土砂災害から市民の生命財産を守ると共に、地球温暖化を防止するなど、公益的機能を持つており、森林を健全な形で守っていかねばならない。シカの被害により生態系が侵され環境問題になっていく。駆除防除対策への財政支

援を拡充するよう国に要望していく。県が導入した森林環境税を利用し「森林環境保全基金事業」の推進を県に働きかけ、森林再生を図る対策の積極的な実施を要望していく。

問 新市立図書館建設について

図書館建設について市長は見直しと述べられた。山梨市にとって重要な施策の一つである。選挙は自分の目指す施策の方向を市民に問う場であり市民の意向をくみ取る場である。図書館建設は新市2期目の議会で議決された施策である。この議決を覆すのであれば選挙の場でその政策の信を問うべきと考える。

答 市長 望月清賢

新図書館建設については、厳しい財政状況の中、建設費15億5千万、年間維持管理経費8千万が掛かる図書館が必要か市民の皆さんから意見を頂いた。本市の財政力に見合った図書館とし、建設場所、規模などについては、既存施設の有効活用を前提として、有識者会議での協議、アンケートを実施し市民の皆様意向も把握し決定していく。面積・蔵書数は市の人口に対応した規模を確保したい。

問 議案第2号について

「山梨市鳥獣被害対策実施隊」の設置にあたり隊員の

報酬額の規定がされた。多くの人に隊員になって頂く必要があるがその方法は、また報酬額日額2千500円は妥当とは考えにくいがいかがか。

答 農林商工課長 若月清

隊員は「山梨市猟友会」の会員全員を任命し平成26年度より活動を開始する。対応時間2時間想定で報酬額を決めた。活動内容は広報を通じ市民に周知する。

一般質問

日本共産党 吉田 昭 男 議員



〈主な質問と答弁〉

問 関東甲信大雪被害救済及び大災害への対応について

①災害救助法の適用申請をしなかった理由は何か。②情報提供は迅速・丁寧に繰り返してほしいが考えは。③高齢者一人暮らしの安否確認、孤立集落への食料供給、病院への診療手段の確保、避難所や重機等の提供者への助成もしくは区や自治会に対する救援除雪等交付金の創設、また小型

ロータリー除雪機の配備について伺いたい。

答弁 市長 望月清賢

①三富広瀬地区は緊急車両で物資を運搬できるため対象外であった。②市ホームページ、CATV、ツイッタ―、NHK文字放送等で情報提供を行っている。③区長、消防団、民生委員を通じ、安否確認をお願いした。災害時要援護者台帳などの活用を今後検討したい。

問 小中学校へのエアコンの設置の促進を

答弁 市長 望月清賢

6月の補正予算の提案の際に事業費を計上し、小中学校へのエアコン設置に取り組む。

問 子供医療費窓口無料化年齢引き上げについて

中学3年生までの医療費窓口無料化年齢の引き上げの早期実現を求めたいかがか。

答弁 市長 望月清賢

6月議会に条例改正案及び予算を上程し、10月1日からの実施を目指したい。

〈その他の質問〉●東甲信大雪被害救済及び大災害への対応について(農業施設再建、果樹改植等への市独自助成や、被害者の各種税について減免を。見舞金支給について)●住宅リフォーム助成制度の拡充を●空き家、空き店舗、空

き工場バンク制度について
新翔会

三枝正文 議員



〈主な質問と答弁〉

問 水路、農道等の原材料支給による整備について

この事業について以下の問題がないか伺いたい。①専門的知識のない住民だけで、安全に施工できるのか②事故等が発生した場合の責任の所在は③特定の業者にボランテアとして負担を強いているのではないか。

答弁 農林商工課長 若月清

原材料支給による施工は地元区が事業主体となり、住民による施工と、区が業者等に依頼し施工する場合がある。現地確認し住民による施工が可能か、建設業者でなければできないのか、施工方法や安全性を踏まえ、地元と協議し機械の借り上げや原材料費の支給を行っている。また事故等の責任の所在は、事業主体である地元区が責任を負うことになる。

問 小学校英語教育について

本市は合併当初から小学校英語教育に力を入れてきているが、これまでの取組の評

価等について伺いたい。また国や県において英語教育充実に向けての対応強化が加速化しているが、本市の今後の方針を伺いたい。

答 教育長 丸山森人

平成26年度から市内全小学校で英語を教科とした取組を進める計画である。取組の検証・評価について、小学校の児童意識調査ではほとんどの児童が英語を楽しく前向きに学んでいることとする姿勢が伺え、中学校からは外国の人とも積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度が養われてきているとの評価を得ている。国の動向を注視し、より充実した英語教育に取り組んでいきたい。

〈その他の質問〉●山梨市疾病予防対策実施計画の取組状況について●オーチャードヴィレッジ・フフのその後について

市民の会
深沢敏彦 議員



〈主な質問と答弁〉

問 市税の収納率の維持向上について

答弁 市長 望月清賢
平成20年に立ち上げられた「山梨県地方税滞納整理

推進機構」との更なる連携の強化、平成24年に開始したコンビ二収納に加え、本年度は滞納整理システムを導入し膨大な情報の管理をしている。市民の税収の確保に向けて適正な賦課徴収業務に努め、滞納整理強化を進めて、公平な負担と納税秩序の維持を図り、また収納率の向上を目指す。

問 学力テストの結果公表について

答弁 教育長 丸山森人
全国学力テストの目的は、教育施策の成果と課題を検証し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることにある。本年度までの結果公表ルールでは、市町村名・学校名が分かる形での公表は行わなかったが、来年度からは、①個々の学校名を明らかにして結果公表できる。②数値のリスト化や学校の順位付けは行わない。③児童生徒の個人情報保護や学校・地域の実情に配慮する等と変更された。これに伴い、山梨市教育委員会では対応を慎重に審議し、学校別の結果公表は行わないと決定した。主な理由は、①学年一学級の学校が多く少人数のため個人が特定されやす

く、不要な優越感や劣等感を与えかねない②学校の序列化や教職員の競争により本来のバランスの取れた教育を行い

難くなる等である。本市では校長代表、教頭代表、各学校代表で「学力向上推進委員会」を組織し、①学級力の向上②活用力育成の取組③全国学力テストの結果を生かした授業改善の取組により学力向上を進めてきた。

新翔会
武井寿幸 議員



〈主な質問と答弁〉

問 大雪による農業及び農業施設の被害対策について

雪害による被害農家への国と県及び本市の支援対策について伺いたい。

答弁 市長 望月清賢

ハウス等の撤去費については、国が5割、県と市で5割を負担し、被災農家の負担がないように助成を行う。ハウスの再建については国が5割、県と市で四割、農業者が1割の負担として再建の対応を行う。

問 JAフルーツ山梨、山梨共選所の損壊支援策について

山梨県内共選所の機能としては年間稼働率がトップの共選所が大雪の被害を受け損壊した。再建に向けての支援策について伺いたい。

市長 望月清賢
ハウス等の撤去費につ

答弁 いて2月18日林芳正農林水産大臣に面会し共選所の解体と再建築についての対策をお願いした。国、県、市、JAF、ルーツ山梨と協議を行い、国の5割補助事業である「強い農業づくり交付金事業」で再建築する方向となった。市としては更に国、県に支援の働きかけを行う。

問 小規模小学校の統合問題について

本市には全校児童45名以下の小学校が4校ある。市において小学校の統合を進めて行く事を望むがいかがか。

答弁 教育長 丸山森人
少子化により小学校の小規模化が進んでいるため、検討する機会として「小規模学校教育環境検討委員会」を設置し、3回の会議を開催し意見を頂いた、今後は委員も増員して各小学校単位に説明会と意見聴取会を実施する予定である。

問 (その他の質問) ●大雪の除雪対応について

土屋裕紀 議員



主な質問と答弁

問 第一次総合計画について

後期基本計画中であり、残り2年の今の段階では計画の大幅な見直しよりも、10年間の第一次総合計画を振り返り総括をし、次のステップに進む事が重要と考える。後期基本計画を見直すのか、第二次総合計画(仮称)に着手するのか、新しく計画を策定するのか市長の考えは。

答弁 市長 望月清賢
まずは具体的な取組を指示したものは次の通り。

●山梨市駅南口整備と南北自由通路、乗降客用エレベーター設置 ●企業誘致における市場調査 ●中学校3年生までの医療費無料化 ●学童保育の時間延長 ●中学校の教室へのエアコン導入

総合計画の内容を踏まえ、まちづくりの3本柱を具現化したビジョンを分かり易い形で示せるよう検討を進めていく。

問 道路のインフラ整備について

県との連携により進めると公言してきたが具体的な内容は。

答弁 市長 望月清賢
まずは幹線道路整備が急務である為、現計画の交通状況や地域の理解度を踏まえ順次整備したい。都市計画道路の位置づけや機能を再確認

し見直しを実施する。長期道路網整備計画も再編成し見直す考え。

問 保育園の在り方について

閉園する保育園もあるがその数や在り方について。また子ども・子育て支援二ーズ調査状況と今後の活用方法は。

答弁 福祉事務所長 里吉幹夫
統廃合や指定管理者制度の導入を進めたい。調査結果を基に地域別支援分析を行う。

問 (その他の質問) ●山梨市駅南地域整備事業について ●職員市民サービスについて

公明党 大竹裕子 議員



主な質問と答弁

問 新図書館建設計画の見直しにおける市長の基本的考えについて

林野庁の補助金を受けて新図書館建設が計画されていたことについて、県議であったときはどのように考えていたか。方向転換した理由は。

答弁 市長 望月清賢
協力できることがあれば力になりたいと考えていた。方向転換した理由は、厳しい財政状況の中、15億5千万以上の予算を投入し、年間の維

持費8千万近く掛かる図書館を作る必要があるのか、また旧庁舎跡地は別の活用策を検討した方がいいのでは、などの意見を多くいただいたこと、また市長就任後、財政状況を考え、身の丈にあった図書館への見直しを決断した。

問 消防団の処遇改善について

①国で退職報奨金が一律引き上げられることとなった。消防団の年額報酬や出勤手当については交付税で措置されているが、市の条例では交付税単価まで確保されているか。②退職報奨金の引き上げと条例改正への考えは。

答弁 総務課長 小林 孝
本市は地形や面積などから交付税算定基礎数を越えた消防団員数となっている。退職報奨金については、法令改正により一律5万円引き上げられることになり、退職報奨金の支給に関する条例の一部改正について、今議会最終日に追加提案する。市単独で支給している勤務年数5年未満の報奨金も引き上げる。

問 (その他の質問) ●「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を受けての本市の地域計画策定と取組について ●災害時の各種対応とマニュアル作成について ●道路の愛称について

市民の会

小野鈴枝 議員



主な質問と答弁

問 新図書館建設計画見直しについて

図書館建設の予算のうち社会资本整備総交付金は図書館建設以外の工事含まれているが、この補助金を断った場合の他の工事への影響について。

次に旧庁舎解体と新図書館建設を一体の工事とすることで解体作業に合併特例債の充当が可能とのことであったが、図書館建設をしないのであれば解体作業の費用はどうなるのか。また市長は図書館建設費用を3分の1の5億円で建設することだが、その財源内訳を伺いたい。

答弁 市長 望月清賢
社会资本整備総交付金について、県との打ち合わせでは他の事業への影響について言及されていない。最終的には国が変更承認を行うので今の段階では明確な答弁は出来ない。

次に新図書館を旧庁舎跡地に建設しなければ合併特例債は充当できないので、解体費

用は一般財源からの支出となる。また見直し後の新図書館は計画の3分の1程度で整備したいと考えているが、今の段階では設置場所等具体的な内容が決まっていないので財源内容は示せない。

問 山梨市駅南地域整備事業について

駅舎建設の山梨市の負担割合と南口広場とそれに伴う進入路の拡幅工事の進捗について。

答弁 市長 望月清賢 駅舎建設費に対するJRの負担額は現在の駅舎を地平部に再建築する場合に要する費用から、現在の駅舎の残存価格を引いた額となっている。基本設計が完了する時点で駅舎の概算工事については計画通り進捗している。

その他の質問 ●学童保育について

山友会 根津和博議員



〈主な質問と答弁〉

問 新図書館見直しについて

見直しに併せて市民がもっと読書に親しむ環境づくりが必要と考える。山梨市読書条例を制定し、図書を通じ

て交流を図ってはいかがか。

答弁 市長 望月清賢 読書条例の制定は、子どもたちの「言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と考え本市でも、平成26年度に第二次子ども読書活動推進計画を策定する予定である。新しい図書館の建設に併せて市民の読書活動の推進をどのように進めていくことが望ましいのか、先進市の取組を検証し、検討していく。

問 雪書における防災計画について

①地域防災計画に大雪において孤立地域のガイドラインや雪崩、竜巻の行動計画がないので盛り込んではいかがか。②災害時のソーシヤルネットワークワーキングサービスやPHSの活用、併せてwi・fi・s・pott設置が必要と考えるがいかがか。

答弁 総務課長 小林 孝

①今後予想される豪雪や竜巻についても対応するため、国、県の計画を踏まえ見直しを行う。②今回の降雪でも、公式ツイッターは貴重な情報提供方法になった。また災害時において通信規制がかかるPHSは、今年度、本庁舎、支所に医療救護所用

として整備した。今後もWi-Fiスポットの設置など災害時に不通とならない連絡手段確保のため各種施設への配備も検討していく。

その他の質問 ●2020年東京オリンピック、パラリンピックに向けた本市の取組について

公明党 木内健司議員



〈主な質問と答弁〉

問 ふるさと納税について

平成20年度の税制改正よりスタートしたふるさと納税制度は、この制度を通じて生まれ故郷や応援したい自治体に寄付をする事により、税制上の控除を受けられるもので、地方自治体にとって貴重な財源の一部となっている。近年、この制度を利用して一定額以上の寄付を行って頂いた方に、地域の特産品などの特典を設けている自治体が増え、テレビなどでも取り上げられ話題になっている。

財政の厳しい中、少しでもこうした財源を取り込む努力の必要性と、山梨市の魅力や特産品などを多くの方に知ってもらうためにも特典の設定を提案するがいかがか。

答弁 市長 望月清賢 ふるさと納税をきっかけに、地域の特産品や地域を知って頂く絶好の機会と捉え、特典を設ける取組を今後検討していく。

問 図書館運営等について

図書館計画が見直しになった事を受け、魅力ある図書館づくりのアイデアや機能、また、少なからず図書費の抑制効果が期待できる雑誌スポンサー制度の導入を提案したいがいかがか。

答弁 市長 望月清賢 本市の図書館も多くの方に利用して頂くとともに、交流拠点としての機能も考えている。可能なものは取り入れていきたい。また、機能面についても最新の図書館システムの導入をはじめ、費用対効果の観点から十分に検討していく。雑誌スポンサー制度についても維持管理費の抑制が重要と考えており、十分に検討していく。

その他の質問 ●スマートフォン用アプリを利用した情報発信について

緊急質問

市民の会

小野 鈴 枝 議員

問 在宅医療と介護に関する市民講演会の件について

昨日の18日に行われた上野千鶴子さんの講演中止問題は全国的な問題として大きくメディアに取り上げられた。この問題に山梨市議会議員として市民の声に応えるためにも緊急質問をする。中止から開催までの経緯を伺いたい。

答弁 市長 望月清賢 講演会は担当課の介護保険課で企画し講師を上野千鶴子先生にお願いしたものである。広報やまなし3月号や市のホームページで参加者の募集をしていた。3月に入ってから複数の市民から意見が寄せられこのままでは当日の講演会に混乱が予想されたため中止を決定した。しかし介護保険課から開催に向けての再三の要請を受けたため内容を在宅医療や介護に限ること、マスクの取材を受けられないこと、警備体制をとることの確認の報告を受けた後、開催を決定した。

常任委員会の審査

今定例会の常任委員会は、3月10日、13日、24日、25日、27日に開催され、付託議案について慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑の要旨(抜粋)は次のとおりです。

総務

○議案第三十四号、平成25年度山梨市一般会計補正予算(第6号) 関係付託部分について

問 長野県飯山市及び栄村からの除雪応援隊の活躍により、市内の除雪が効果的に進められた。これらに係る経費負担について相互応援協定の中で定められているのか。

答 飯山市との協定においては、経費の項目ごとに、それぞれどちらが負担するのか定めている。また宿泊の手配をはじめ様々な事務を、被災側の負担軽減を考慮して飯山市が行ってくれた。

○議案第二十号、平成26年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 今回のような雪害に備え、具体的対策を実施するための予算計上の予定はあるか。

答 山梨市地域防災計画の見直しに当たり、予想以上の災害を想定し見直しを行う必要があると考えている。特に今回の事例を検証する中で、効果的な対応ができるように備えたい。なお、災害対策に必要な予算については、予備費を充当するか、若しくは補正予算で対応する予定である。

○地域審議会の在り方について
問 地域審議会は、山梨地域、牧丘地域、三富地域それぞれ

の独自性を尊重し運営されているが、今後もこの状態を継続するのか、またそこで議論されたことがどのように活かされているのか。

答 市町村合併後10年間は地域審議会を組織することになっており、3地域審議会がそれぞれ運営されている。そこでは、市の重要課題となっている政策的なものについて議論していただいている。その結果を市の行政推進に活かしていきたい。

現地調査として、東山梨行政事務組合に売却予定である山梨消防署東側市有地の視察を行いました。

建設経済

○議案第十号、平成25年度山梨市一般会計補正予算(第5号) 関係付託部分について

問 都市再生整備計画関連の社会資本整備総合交付金を活用した新図書館建設の事業費や交付金額はどうなっているのか。また都市再生整備計画を変更する場合の対応は。

答 事業費は約1億6千600万円、交付金は約6千600万円が交付される。内容等を変更する場合の対応として、事業終了年度である平成28年度末までに事業が完了でき、都

市再生整備計画の趣旨に合致するものがあれば、県と協議し変更手続きを行う。

○議案第三十四号、平成25年度山梨市一般会計補正予算(第6号) 関係付託部分について

問 各区へ除雪に対する機械借上げ料、燃料費の補助は今回限りの措置であるのか。

答 今回の大雪に関して、市民の皆様にも生活道路の除雪作業に協力いただいた。想定外の降雪量であったため、急きよ要綱を策定し、補助金の交付を行う予定。あくまで今回限りであるが、今後も地域で協力しながら除雪作業を行なっていただきたい。

○議案第二十号、平成26年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 乾徳山登山道に設置するバイオトイレは利用料を徴収するのか。

答 利用料は徴収しないが、募金箱を設置する予定。

問 ライオン株式会社と森林整備協定を締結している企業の森の維持管理はどのように行っているか。

答 協定期間を5年間として、平成23年4月に更新している。ライオン株式会社からは毎年100万円を森林整備支援金として補助いただき、植林・間伐・枝打ち作業や下草刈り作業を行なっている。

要望事項

◆設置及び管理条例を廃止する山梨市西沢山荘について、緊急避難所として安全面、衛生面に配慮した管理を検討すること。◆水道料金及び下水道料金の徴収について、市民サービス向上のためにもコンビニ収納の検討をすること。

現地調査として、万力公園ふれあい動物広場、笛吹川フルーツ公園AZ山梨サーキット、フルーツ公園内交流広場(フアーマーズマーケット)の視察を行いました。

教育民生

○議案第三十四号、平成25年度山梨市一般会計補正予算(第6号) 関係付託部分について

問 今回の雪害に対して、市内学校の被害状況は。また今回の被害を踏まえて、修繕においてどのような対応を考えているか。

答 市内中学校の体育館における補・雪止めの破損、及び格技場への雪の流れ込み、また駐輪場の破損等があった。今回の修繕では、老朽化した箇所もあるので、今後の雪害対策の意味も含めて破損箇所を補強しながら修繕を行う予定である。

○議案第二十号、平成26年度山梨市一般会計予算関係付託部分について

問 医療費抑制の取組としてどのような策を講じているか、また、市民の健康増進を目的に地域住民に対して公民館等でPRをしてはどうか。

答 市では疾病予防計画を策定しており、その中で健康づくり推進事業があり、平成25年度においてはウォーキング教室、健康を語る会、地区料理講習会においては減塩料理について力を入れた。また、現在も地区へ出て健康指導を行っているが、今後はその体制も充実を図っていきたい。

問 小原スポーツ広場の今後の活用方法について、新年度において何か活性化に係る費用は計上してあるのか。また、イベントの開催予定はあるのか。

答 新年度予算は管理経費のみで計上となっている。施設を整備し、多くの方に活用してもらうことを目的としている。現在のところは市主催イベントの予定はない。

要望事項

◆小原スポーツ広場の利用者確保における年間計画及び横溝正史館、連方屋敷の活用・有効利用の計画を示すこと。

議会活動日誌

2月

- ……山梨市危機管理対策会議(14日)
- ……山梨市災害対策本部員会議(17日)
- ……長野県飯山市除雪応援隊来訪(19日)
- ……議会運営委員会(19日・27日)
- ……議員全員協議会(19日・27日)
- ……雪害状況現地調査(25日)

3月

- ……平成26年3月定例会(3日～27日)
- ……議会改革特別委員会(3日)
- ……雪害状況現地調査(3日)
- ……山梨市緑化推進委員会総会(4日)
- ……山梨市都市計画審議会(4日)
- ……会派代表者会議(11日)
- ……議会運営委員会(11日・26日)
- ……議員全員協議会(11日・26日)
- ……市内各中学校卒業式(12日)
- ……市内各小学校卒業式(20日・23日)
- ……山梨市誕生九周年記念式典(24日)
- ……山梨市民小原スポーツ広場竣工式(30日)
- ……山梨市中小企業労務改善協議会「永年勤続優良従業員表彰式」(30日)

4月

- ……市内各小学校入学式(4日)
- ……信玄公祭り山梨市隊出陣式(5日)
- ……春季山梨市少年野球大会(6日)

4月

- ……市内各中学校入学式(7日)
- ……つつじ幼稚園入園式(7日)
- ……山梨県市議会議長会定期総会(16日)
- ……万葉うたまつりとホテル観賞会実行委員会(21日)
- ……関東市議会議長会定期総会(22日)
- ……議会運営委員会(23日)
- ……議員全員協議会(23日)
- ……山梨市建設協力会通常総会(23日)
- ……巨峰の丘マラソン大会実行委員会(23日)
- ……山梨市食生活改善推進員会定期総会(24日)
- ……山梨市戦没者合同慰霊祭(25日)
- ……市町村長及び市町村議会議長会議(25日)
- ……山梨市文化協会定期総会(26日)
- ……山梨市少年柔道招待試合(27日)
- ……西沢渓谷山開き及び山岳指導所開所式(29日)
- ……山梨市民生委員児童委員協議会定期総会(30日)
- ……山梨市自衛隊協力会定期総会(30日)
- ……山梨市体育協会総会(30日)

5月

- ……議会改革特別委員会(1日)
- ……甲州ワインライナーの山梨市乗り入れ及びちどり湖バス停設置に伴う出発式典(2日)
- ……議会だより編集委員会(8日)
- ……議会改革特別委員会作業部会(広聴広報部会)(13日)
- ……議会改革特別委員会作業部会(議会運営部会)(15日)



現地調査の様子
(倒壊したハウス等)



現地調査の様子
(JAフルーツ山梨 山梨共選所)

本年2月は、山梨県内において、平年を超える降雪が続きました。特に2月14日から翌日にかけては記録的な大雪となり、これまでの観測記録の2倍を超える観測史上最大積雪を記録しました。

この大雪に際し、山梨市議会では市とともに早急に現地の被害状況の確認を行いました。国や県に対しても意見書を提出するなどして働きかけ、更なる対応・対策を要望しています。

6月定例会開催予定

- 2日(月) 開会
- 17日(火) 代表質問
- 18日(水) 一般質問
- 19日(木) 総務常任委員会
- 20日(金) 建設経済常任委員会
- 23日(月) 教育民生常任委員会
- 26日(木) 閉会

※全日程午前10時から開会予定
※日程は都合により変更となる場合があります

議会だより編集委員会

- 委員長 大竹 裕子
- 副委員長 古屋 忠城
- 委員 飯嶋 賢一
- 古屋 雅夫
- 雨宮 巧
- 大村 政啓
- 雨宮 巧

編集後記

新緑が美しく、大地が躍動する季節となりました。3月議会は大雪による雪害対策について、多くの質問が出ましたが、被害農家の皆様の一日も早い立ち直りを願っております。議会改革を進める中、議会の広報のあり方についても議論を重ねておりますが、市民の皆様のご意見もお寄せ頂きたくお願い申し上げます。